






















診療計画説明書

頸椎後方手術(椎弓形成術・後方固定術)

経過	入院日	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8~10日目	11日目	12~14日目	15~退院予定日(21日目)
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	/ ~ /	/ ~ /
退院基準	・創部の出血がない ・感染徴候が見られない ・しびれの増悪がない													
達成目標	・病気や治療内容を理解しましょう	・手術を受ける準備をしましょう	・痛みや苦痛があれば看護師に伝えましょう	・看護師の指導のもと日常生活を上げましょう							・カラーを自分で着脱できるようにしましょう ・退院に対して不安がなく、日常生活動作が可能なら退院です			
検査	・手術前までにMRI・CT・脊髄検査を行います  	・医師の指示にて血液、レントゲン検査を行います 												
処置		・手術部位の毛を剃ります 	・血栓予防に弾性ストッキングを履きます(歩行可能となるまで) ・手術後創部に管が入ってきます	・医師にて創部の管を抜去します		・医師にて適宜ガーゼ交換を行います 			・ガーゼやフィルムをはがします 					
薬剤(点滴・内服)	・内服中の薬がありましたら見せてください(指示にて中止となることがあります)		・手術前より点滴を行います  ・必要に応じて痛み止めを使います ・点滴にて持続的に痛み止めを行うことがあります	・手術後も引き続き抗生剤などの点滴を行います	・医師の指示にて順次中止していた内服薬が再開となります 									
食事	・常食です	・夕食後、医師の指示にて飲食制限があります 	・絶飲食です 	・医師の許可にて適宜食事開始です 										
安静度	・制限はありません		・手術後は集中治療室に入ります ・手術後はカラーを装着しベッド上安静です ・医師の指示にて、看護師の介助でベッドの頭を上げたり横向きができます 	・集中治療室から病棟に帰ります ・カラーを装着してベッド挙上30~90度になります(介助にて側臥位になれます) 	・カラーをしてベッド挙上90度~端座位になります ・チューブを抜いてから車椅子や歩行器歩行できます 	・状態に応じて、歩行までできます(リハビリの具合によって移動方法が変化します)								
リハビリ	・リハビリにて術前の状態を確認します			・リハビリ開始です ・カラーを装着し起き上がりの練習をします	・創部のチューブが抜けてから、ベッドから離れてのリハビリを行います									
排泄			・手術中に尿管が入ります 	・離床許可が出れば尿管を抜いてトイレまで行くことができます										
清潔		・手術前に入浴をします 		・看護師が体を拭きます 										
説明指導同意	・入院についての説明をします ・ご不明な点は主治医または看護師にお尋ねください 	・主治医から手術の説明があります ・麻酔科の医師より説明があります ・手術室、集中治療室、病棟の看護師から手術のオリエンテーションがあります ・血栓予防の足首の運動の説明をします ・各種同意書を(手術、輸血、麻酔など)提出してください	・主治医より手術後の説明があります  ・手術後は集中治療室(またはHCU)入室する予定です(集中治療室に入る場合は入院時のお部屋を空けていただく必要があります)	・頸椎カラー装着の方法を説明します ・日常生活動作の説明・指導を行います 							・退院後の生活・活動の説明、指導をします 			

\* 病名は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わり得ます。

岐阜市民病院 整形外科 平成29年6月改訂

\* 入院期間は治療内容や現時点で予測されるもので、症状により変わります。

\* 入院日が手術前日となることがあります